

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年10月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300158
法人名	社会福祉法人 希望会
事業所名	グループホーム やすらぎの里
所在地	鹿児島県姶良市下名2992番地 (電話) 0995-65-1641
自己評価作成日	平成27年9月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たちのホームは、自然に囲まれた田園風景の中になります。9名の入居者様は、ご自分の好きな事をされ一日をマイペースに過ごされています。又、個々人に合わせた支援をしつつ、「皆家族の一員」であるという共通意識への支援も行っています。朝のホール、居室の掃除や毎食事・ティータイムへの声掛けを行い、なるべく皆で一緒に時間を過ごして頂いております。日常生活支援としては、入居者様個々人ができる事への支援として、調理・洗濯たたみ等の家事活動でご本人の得意分野を活かし、興味を引き出される様な支援をしています。又当ホームの自慢は何といっても豊富な天然温泉で入居者様より大好評をえています。行事関係では毎月のボランティア様による絵手紙教室や四季折々に合わせた保存食作り（梅シロップ・ラッキョウ漬け・キンカン漬け等）は、入居者様と職員が一緒になって作り、出来上がりをみんなで楽しんでいます。毎日の日課としては、リハビリを兼ねて「ラジオ体操・サザエさん体操・ソーラン節」で体を動かし心身共に機能低下しないように心がけています。ボランティア制度の活用を行い65歳以上の方との交流を図りつつ、地域貢献にも、力を入れています。又、近隣へのドライブ等により地域の中に溶け込んでいけるような支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当事業所は隣接して同法人の特別養護老人ホームや小規模多機能ホーム等があり、災害時の協力関係が構築されている。
- 自治会に加入し、地域コミュニティ協議会や地域行事のかかし祭り・小学校の運動会に出たり、ホームの行事には地域住民を招待し多数の参加者がある。中・高校生の実習やボランティアの受け入れなども行っている。ホームでのドライブやそうめん流し・忘年会には地域から見守りのボランティアの参加者がある。
- 利用者個々人の楽しみを把握したうえで、調理や菜園作り・絵手紙・新聞購読など、その人らしい生活ができるよう支援している。天然温泉で、しょうぶ湯やゆず湯などで季節感を楽しめるように工夫している。
- 管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、職員育成にも力を入れ、各種研修会への出席を奨励し、職員の働く意欲を引き出している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設全体の理念を職員全体で勉強会を開催し毎年勉強すると共に、事業所の理念を合わせて、全職員が理解し、地域密着型サービスの意識を共有し、日々のケアに実践している。	法人の理念とホームの理念があり、理念は事業所内に掲示し、朝礼で唱和している。職員会議等で振り返りを行い、日々のケアに繋げている。年1回、理念学習会を実施し、全職員参加できるよう3日間の日程を組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事「小中学校の文化祭、かかし祭り」などへ入居者と一緒に参加したり地域のボランティアの方と菜園に野菜を植えたりしている。又事業所の忘年会等へ民生委員やボランティア様の参加の呼びかけ入居者と一緒に楽しむことができている。	自治会に加入し、地域コミュニティ協議会や地域行事のかかし祭りや小学校の運動会に出たり、ホームの行事には地域住民を招待し多数の参加者がある。中・高校生の実習やボランティアの受け入れなども行っている。ホームでのドライブやそうめん流し・忘年会には地域から見守りのボランティアの参加者がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々の抱えている悩みや相談等が気軽に話せる場として、いつでも訪問できるように入り口をオープンにしている。又、グループホームの入居者と直に触れ合って頂く中で入居者の不安やプライバシーに十分配慮しながら認知症の方を理解していただくという機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎、定期的に御家族様、地域の代表者様、民生委員の方々、地域包括の方へ呼びかけ運営推進会議を開催し事業所の取り組み、自己評価の取り組み、自己評価の説明、外部評価の結果説明を行いその課題について皆様から様々な意見を頂きより一層の「質の高いサービス」へ繋がるよう生かしている。	会議は定期的に開催している。事業所の状況や外部評価の報告・現在取り組んでいる内容について報告し、意見を貰っている。自治会で抱えている問題や防災・利用者の徘徊事故を防ぐ対策等を話し合い、地域と一緒に問題を解決したり、改善してサービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃より市担当者とは連帯を取っており運営上の疑問・問題点などが発生した場合は速やかに連絡し、運営推進会議などで、地域包括の職員に相談・指導を受けている。	市担当者とは相談や報告、おむつ券やシルバーカーの補助金等、積極的に情報交換をして、アドバイスを貰っている。地域包括支援センターの担当者とは運営推進会議を通して協力関係ができている。市主催の研修会や市長と語る会等に出席し、連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所全体で身体拘束廃止委員会を設置し毎月定期的に会議を開催し、身体拘束ゼロを目標に全職員へ周知徹底をしている。外部研修への参加後の研修報告などもあり身体拘束廃止への理解を持ち拘束をしないケアを実施している。	身体拘束廃止委員会を中心に、外部研修に参加したり、毎月事例や課題に基づいて勉強会を実施し、職員の共通認識を図り、身体拘束ゼロを目標に取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。玄関は昼間は施錠せずに職員間の連携で安全な生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	事業所全体で虐待防止について各種研修に参加し研修報告などで全体の勉強会を開催している。様々な心身への虐待についての知識や予防について全職員に周知徹底し虐待のないより良いケアを実践に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、入所前より「地域福祉権利擁護事業」制度を利用されている援助者（1名）もあり、社協の担当職員の毎月の訪問により情報交換及び連携を取りながら支援している。また、事業所の職員も制度については福祉関係の資格取得等で、十分勉強し理解出来ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結・解約の際は十分に説明を行い重要事項説明書・利用契約についてご本人、ご家族様が十分に納得、理解されたうえで同意を頂き契約を取り交わしている。重度化や看取り及び医療連携体制などについても同様に十分な説明を行い納得理解され同意を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させていく。	普段から利用者へ目や耳を傾け、心身の変化に早めに気付き、一つ一つの言葉にある思いを受け止められるように努めている。又ご家族とのコミュニケーションも積極的に図り、何でも話せる雰囲気作りをし、意見や要望を気軽に言える信頼関係の構築に努めている。	日頃から話しやすい関係作りに留意している。利用者からは日々の生活の中で、家族からは面会や電話・家族会などで意見が出やすいうように声かけしている。利用者の絵手紙を家族への便りに同封するなど、コミュニケーションも大切にしている。出された意見や要望等は職員で話し合い、運営に反映させていく。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は日頃から職員と話し合う機会を設けコミュニケーションを図っている。そこで提案された意見を聞き必要に応じてミーティング・勉強会・職員会議を開催し、そこで話し合われた内容を職員1人1人が理解し、日々の職務に努めている。	管理者はミーティングや職員会議等で職員の意見や気づきを聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。管理者と職員との連携が良く、提案により、申し送りノートの改善など業務に反映させている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得や自己研鑽の為の各種研修への参加、仕事への意欲や取り組み、又職員自身の自己評価を実施し、十分な話し合いを行った上で、働きやすい環境・労働意欲や向上心を持つ労働条件の整備を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	運営者は事業所内外の研修への参加を積極的に勧めている。職員全体の研修には外部講師を招いて事業所のスタッフも参加している。各個人へ資格取得への勧めを行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	県や地区のグループホーム評議会の主催する事業所同士の研修に参加、又法人内の研修に参加等し、事例など出し合い検討会や意見交換を通してお互いの事業所の情報交換を行いサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談時は事前相談を行い本人の困っていること、不安、要望等些細な事柄についても傾聴し、ご本人の生活状況を把握することでよりよい信頼関係作りに取り組んでいる。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初めての相談時、家族との面談を行い御家族の困っていることや不安・要望等お聞きし家族の状況を把握することによってよりよい信頼関係を築くよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、ご本人やご家族の思い、生活状況等を確認し必要に応じた支援を見極め、事業所でのサービスの内容を共用し、早急な対応が必要な時相談者には可能な限り柔軟な対応をし当ホームに空きがない場合は他の事業所のサービスを紹介する等の対応・対策を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員と一緒に家事を行う様にしている。掃除・料理・買い物・洗濯物たたみ等残存機能を生かしつつ本人の得意なことを生かせる場面作りを日常的にしている。昔の歌や遊び方等も教えて頂いたりしながら楽しくかつ、けがなく他利用者とのコミュニケーションを図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	グループホームの便や面会時等、ホームでの様子をお知らせ、日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め日頃から家族とのコミュニケーションを図っている。又家族会の開催・誕生会・花見・運営推進会議等各行事への参加や協力を呼び掛けご家族の思い意向を聞ける場を設けるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域や行きつけの美容室を利用したり他の事業所の友人・知人を訪ねたり来てもらったりしている。又、ドライブ等で馴染みのスーパー等に行ったりし他者とのコミュニケーションを図っている。	入所時にこれまでの生活歴や習慣・馴染みの人や場所の聞き取りをして、行きつけの理美容院の利用やドライブを兼ねて馴染みの店での買い物、地区の敬老会に参加するなど、継続的関係が途切れないよう働きかけている。家族の協力を得て外出や墓参・マッサージなどの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや家事活動洗濯たたみ等を通じて利用者同士の交友関係がスムーズにいくよう支援している。利用者同士のトラブルや心身の状態、気分感情にも注意を払い見守っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併設の施設へ移られた利用者の所にも入居者と一緒に遊びに行ったり、事業所にも遊びに来てもらう等継続的な付き合いができる様心がけている。又入院されているご家族にも電話をし、様子を聞く等して状態把握を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で本人又、利用者間との話を聞きご本人の思いや意向の把握に努めている。意思疎通の困難な方には言葉や表情から真意を推し図ったりご家族と相談し本人が落ち着いて安心した暮らしが出来るよう努めている。	家族や友人・知人からの情報をもとに、日々の生活の中での表情や言葉などから思いや意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、申し送り時などに職員間で話し合っている。困難な場合は家族や職員で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時にご本人や御家族より聞き取りを十分行い本人自身の話や家族、知人等の来訪時にもプライバシーに配慮しながら個別の支援に努めている。又これまでの主治医を利用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者1人1人の生活のリズムや心身状態を記録し本人の全体像の把握に努めている。できる事に着目し家事や趣味活動（絵描き・塗り絵・カラオケ・ゲーム・料理）等個別に対応している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時や担当者会議などで必ずご本人やご家族の思いや意見を聞く様にし職員会議やカンファレンスで気づき、問題点などについて話し合い介護計画に活かしている。介護計画の見直しは個々の状態変化に応じ本人ご家族の意見や要望を基に主治医や職員との話し合いを行っている。ご家族が参加できない時は電話で意向を伺うようにしている。	本人や家族の意見を汲み取った上で、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。主治医は月2回の往診を行い、医師からの意見を聞いている。モニタリングは新規入居者は1ヶ月で実施し、その後は3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や介護日誌は個別に食事・排泄・体温・血圧（朝・夕測定）健康状態・日々の生活の様子を記録し情報の共有に繋げている。介護日誌は日中（黒）夜間（赤）と区別して見やすく工夫している。ケアプラン実施表を作りかくにんのチェックを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時に生まるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人ご家族の希望や状況により病院受診など必要な支援には柔軟に対応している。健康管理や状態変化に対しても協力医療機関による24時間医療連携体制を取り医療ニーズの対応を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の地域住民と連携を取りつつ、民生委員・ボランティア・地域の小・中学校の文化祭・お祭りなどに参加する等、交流の機会を設け、入居者の方々に安心した楽しい時間を持っていただけるよう支援している。ポイントボランティアの活用で入居者に寄り添ったケアを目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からかかりつけ医や、本人・ご家族の希望する医療機関で定期的な往診を受けている。受診や通院は、家族同伴や希望により職員が付き添いを行っている。又連携看護師による医療連携の充実を図っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。定期の受診は職員が同行し後で家族に報告している。緊急時や歯科受診は家族の許可を受けて受診している。主治医や専門医とは連携を密に取っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携看護師に入居者各人の症状経過等を報告している。状態悪化時は相談し適切な判断を仰いでいる。各主治医や、協力医院による24時間連絡体制ができるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院された際ご家族とも連絡を取りながら症状の把握を行い主治医にも経過報告し三者の連帯を図り少しでも早く退院できるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の在り方についてはアンケート、看取り介護並びに終末期医療に関する同意書を作成している。本人・ご家族・主治医を交えて説明、話し合いにて入居者全員の同意を得ており話し合いによって本人にとって一番良い支援方法を選択できる様主治医に相談しつつ取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を随時確認しながら主治医から説明も受け、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。主治医と相談しながら本人にとって一番よい支援方法に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	各入居者の急変や事故発生を想定した連絡体制のマニュアルを作成している。消防署の協力で事業所全体で心肺蘇生術の研修や併設の看護師によるたんの吸引などの勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと、地域住民の参加型総合避難訓練、夜間想定消火避難訓練、消防用設備等の総合点検の実施。地域住民自主防災組織作り・話し合いや支援体制の取り組みに努めている。（非常食の備蓄あり）	年2回消防署立会いのもと、法人全体による昼間1回、夜間1回の避難訓練を実施している。自主訓練も地域住民の協力により実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、防火設備等の点検も行っている。災害時の水やカップめん・米等の備蓄は年2回全員で試食会を行っている。近隣との連携も整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>勉強会やミーティング等で職員の意識向上を図り、入居者のプライドやプライバシーを損なわない対応の徹底を図っている。記録等個人情報に関しては、保管場所を設け十分注意を払っている。</p>	<p>法人内の研修やミーティングなどで勉強会を行い、利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮したケアや言葉かけに努めている。入浴や更衣・排泄時には言葉かけに注意してケアしている。難聴の利用者の言葉かけにも工夫している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者の希望や好みを把握し一人一人に合わせた声掛けで職員側の押しつけにならぬよう複数の選択肢を提案し自己決定できるようにしている。意思表示の困難な方は表情や態度を読み取り表現しやすいように対応している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人の体調に配慮しながら入居者のペースに沿って柔軟に対応し個別性のある支援を行っている。一人一人のやりたいことを把握し見守ってあげるようにしている。（絵描き・塗り絵・ドライブ・起床や入浴の時間）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床後洗面台の鐘を見ながら洗面髪の手入れをして頂いている。入浴後の洋服選び等入居者の好みを聞いて一緒に行っている。馴染みの美容院を利用し希望のカットやパーマをしてもらえる様、連帯を取っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立づくりは入居者の希望を取り入れながら時には買い物も一緒に行くようにしている。旬の食材や新鮮な物を取り入れ料理の味付けや盛り付け食事の準備や後片付けもできる方に手伝って頂き、食器洗いやお膳拭きなど一緒にしている等入居者の意見も活用している。	利用者の希望を取り入れた献立を旬の食材を活かし工夫している。料理の本を見ながら食べたいものを選んだり、野菜のいただきもので料理をしたり、利用者の力量に応じて買い物や準備・後片づけを職員と一緒に行っている。行事食は地域の人も参加して一緒に作り食べている。誕生会やそば打ちなど、楽しみな食事となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の食事量や水分量や残食量を把握して不足していない様にし、栄養バランスや見た目を大事にして楽しみを持てる食事作りを心がけている。併設の栄養士による年1回の献立のチェックや栄養についての勉強会等を実施している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声掛けを行い自力でできない方には、職員が見守り介助を行い入居者全員の口腔ケアに努めている。就寝前は義歯の洗浄を行っている（ポリデント使用）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の時間や習慣を把握しトイレ誘導しトイレでの排泄を促している。夜間帯は転倒や排泄の失敗を気にされない様プライバシーに配慮しながら、ポータブルトイレを使用されている人もいる、又下着に尿とりパットのみ使用している人もいる。	個々人の排泄パターンや習慣を把握し、チェック表にてさりげなく声かけをし、トイレでの排泄を大切にしている。排泄後の清潔保持に努め、オムツを減らす取り組みや排泄の自立を支援している。排泄の自立に向けた状況改善が見られる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝牛乳を飲用し纖維質の多い食材や乳製品を採り入れ水分補給にも気をつけている。朝の体操や趣味活動等で身体を動かす機会を適度に設けて、自然排便できる様便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴前にバイタルチェックを実施しお一人お一人の体調の変化などを確認しながら入浴を行っている。本人の希望や好みや羞恥心、恐怖心に配慮し時間帯、順番は相談し決めている。又、本人が気乗りしない時は無理に勧めず時間をおいて声掛けを行うなどしている。行事浴も実施（ゆず湯・菖蒲湯）	入浴は温泉を引いており、基本は週3回であるが、毎日入浴したり体調や希望に添った入浴で対応し、湯は一人ずつ入れ替えている。5月はしょうぶ湯、10月はゆず湯で季節を楽しめるようにしている。入浴を拒む利用者には職員間で連携し、状況改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	掃除や食事作り、レクレーション、散歩、外出等日中の活動を通して生活のリズムを作り安眠に繋げ個別に休憩を取り入れている。寝れない人には寄り添い本人の訴えに傾聴し安心して休んでいただくよう対応している。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、個々の薬の目的を周知し正しく服用できるように1人1人の薬剤情報提供用紙をファイル、整理している。状況の変化をチェック、その記録などを医師に報告し追加薬や随時薬を処方された場合は、全職員が把握できるように申し送りノートに記入している。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の生活歴や趣味等を把握して、本人が好きな事、できる事を支援し楽しみながら自分らしく生活していただけるようにしている。本人の得意とする家事援助やレク活動（絵描き、食事作り、カラオケ、買い物、塗り絵）等で力を発揮されている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ホームにこもりがちにならないよう に、気分転換やストレスの発散・五感の刺激を兼ねて散歩に出かけたり、スタッフ同行で、ドライブ、買い物支援を行っている。歩行困難になっている方は、車椅子等を利用して戸外へ。（本人に合わせた移動の配慮をしている）又、季節に応じた行事計画（花見・外食・ソーメン流し・初詣）で戸外に出かける際は、家族に案内しボランティアの方に協力を得ている。	日常的には近隣の散歩や敷地内の足湯に出かけている。希望によってドライブや買い物に出かけている。年間計画を立てて初詣や花見・ソーメン流し・外食など、家族も一緒に出かけることもある。車椅子対応も行っている。家族の協力で外泊や外出・墓参・マッサージにも出かけている。ボランティアも参加して楽しい外出となっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの入居者はご家族が金銭管理をしている。馴染みの美容室の支払いや買い物時には、本人が自分で支払っていただける様なサポートをしている。お小遣いが必要な時には、ご家族に相談し一緒に買い物に行くなどして理解を得てもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族が遠方の方は、ホーム便りや月1回の絵手紙、本人が書かれた手紙などを郵送している。電話が来たりかけたりする時は、子機を使用し気兼ねなく居室でお話して頂くようプライバシーに配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂い、心地よい音楽、ゆず湯や菖蒲湯など五感を刺激し季節感を取り入れる工夫をし居心地の良い支援をしている。（利用者と一緒に作ったラッキョウ漬け、梅シロップ漬け等を作つて一緒に食べている。又、ホームの近くでとれた竹の子や菜園の野菜等を使い季節感を取り入れる工夫をしている。）	共用空間は広く換気や採光に配慮し清潔である。台所も対面式で利用者とのコミュニケーションが図れる。フロアには利用者の作品が展示され、季節を感じさせる飾りつけがされている。ソファーがたくさんあり畳コーナーもあり、好きな場所で居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、ホールにソファーを置き、気の合う利用者同士が話をされたりくつろいでおられる。廊下にも椅子を置き自由に会話ができるよう工夫している。又、入居者同士の関係性などに配慮した居場所作りをしている。（好きな人と一緒のテーブル配置等で工夫）		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が自宅で使用していた馴染みの布団や使い慣れた日用品を、ご家族に持ち込んでもらいその人らしく過ごして頂いている。又、ご主人の遺影等をタンスの上に飾り、職員も飾る花と一緒に取りに行く等して居心地の良さに配慮している。	居室はベッドとタンス・洗面台が備え付けである。寝具やテレビ・時計・人形・位牌・写真・本人が描いた絵など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものを持ち込まれ、その人らしく安心して過ごせるよう配慮され個性ある部屋となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや居室など混乱しやすい場所には、入居者の目線に合わせ、名前、本人が描いた絵等を表示している。ホール、トイレ、浴室、廊下等ほとんどの場所に手すりを設置し安全と自律への配慮をしている。入居者の身体機能に合わせて移動バーや滑り止めマットを使用し工夫している。本人の活動性を維持する為に車椅子等、個人の状態に合わせて取り入れている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない